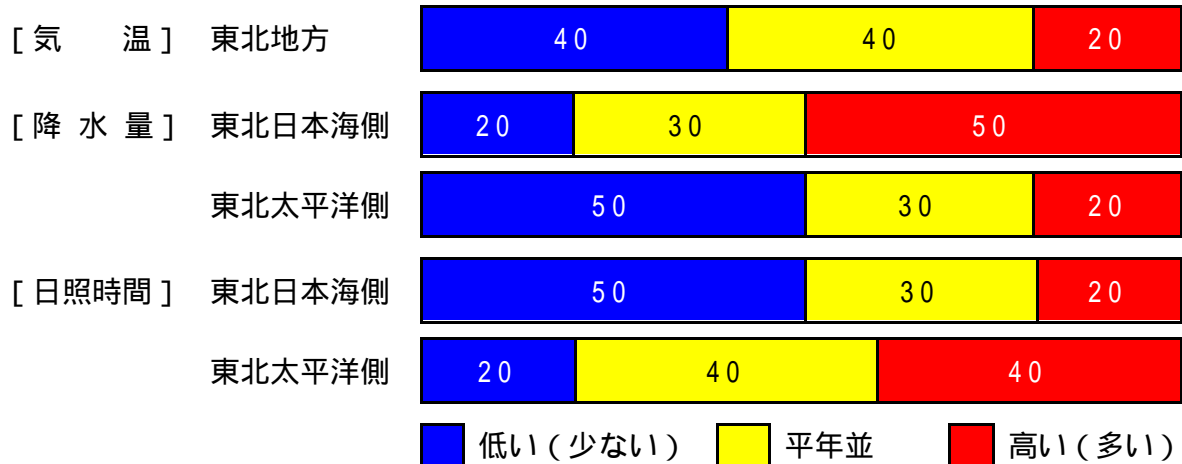


東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：2 月 17 日～3 月 16 日）

平成 13 年 2 月 16 日 仙台管区气象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率（％）



[気 温]: 東北地方は「平年並」か「低い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「高い」の可能性は 20％と小さい。

[降 水 量]: 東北日本海側は「多い」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は 30％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

東北太平洋側は「少ない」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は 30％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

[日照時間]: 東北日本海側は「少ない」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は 30％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

東北太平洋側は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

* 東北日本海側の [降雪量] の予想は終了しました。

2．予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

向こう1か月

東北地方は、冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。

東北日本海側では平年に比べ雪や雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様晴れの日が多い見込みです。

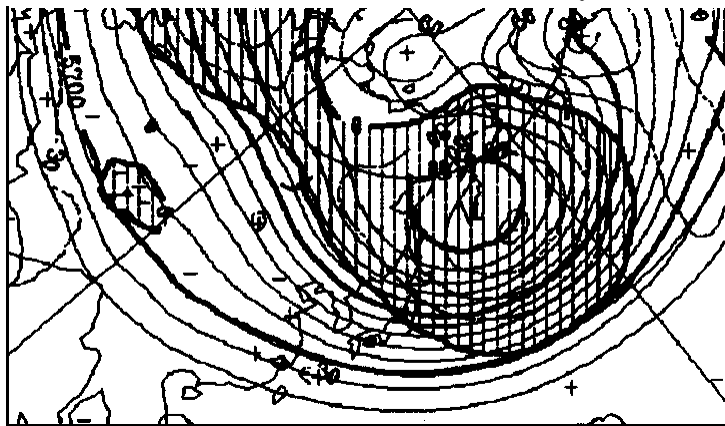
平均気温は平年並か低いでしょう。

向こう28日間の晴れ日数：東北日本海側約9日、東北太平洋側約18日

各予報期間の天候の特徴

- | | |
|----------------------------|--|
| 1週目……………
(2月17日～2月23日) | 短い周期で気圧の谷が通り、気圧の谷の通過後は一時的に冬型の気圧配置となる見込みです。東北日本海側では雪の日が多く、東北太平洋側では沿岸部を中心に概ね晴れる日が多いでしょう。
平均気温は平年並でしょう。
平年の晴れ日数：東北日本海側約2日、東北太平洋側約4日 |
| 2週目……………
(2月24日～3月2日) | 冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。
平均気温は平年並でしょう。
平年の晴れ日数：東北日本海側約2日、東北太平洋側約4日 |
| 3～4週目……………
(3月3日～3月16日) | 冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。
平均気温は平年並でしょう。
平年の晴れ日数：東北日本海側約5日、東北太平洋側約9日 |

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

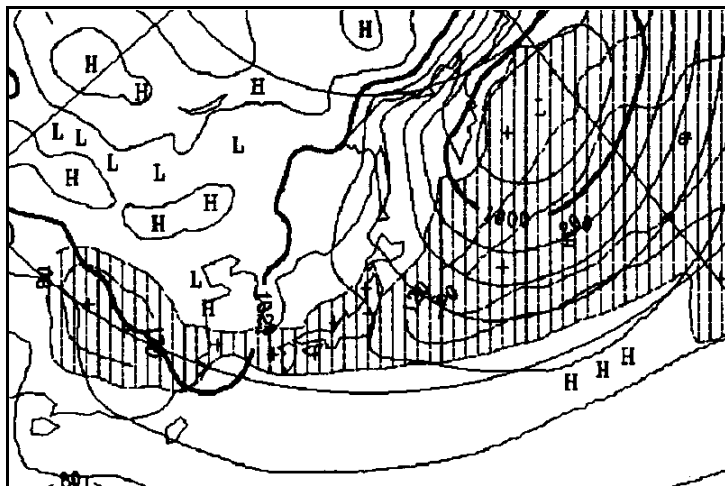


月平均の 500hPa 高度・偏差
(等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

・ 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、極付近正偏差で、関東以北はカムチャッカ半島付近に中心をもつ負偏差に覆われる。また、バイカル湖付近は正偏差で、寒気が南下しやすく、北日本では冬型の気圧配置になりやすい。

週別（図略）では、1 週目、3～4 週目は月平均とほぼ同様。2 週目は、日本付近は広く負偏差に覆われる。

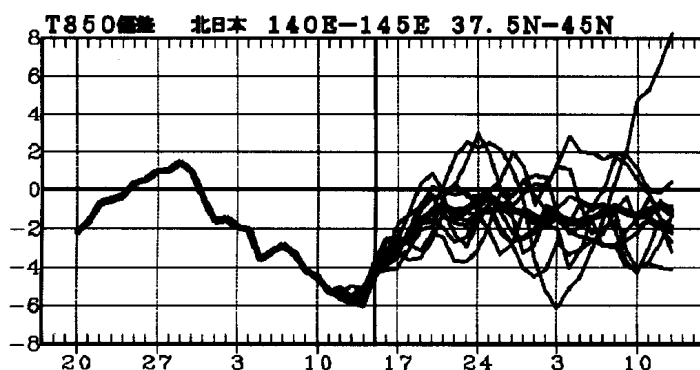


月平均の地上気圧と降水量
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

・ 地上気圧と降水量

月平均で見ると、中国大陸に高気圧、ベーリング海では低気圧が発達して、北日本は冬型の気圧配置となっている。日本付近は東西にのびる弱い降水域に覆われるが、まとまったものはかからない。

週別（図略）でも北日本は冬型の気圧配置が続く。2 週目に低気圧の通過に伴う弱い降水域が日本付近を広く覆うが、3～4 週目は月平均と同じ。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想

(縦軸：気温平年差 () 横軸：日付)

発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

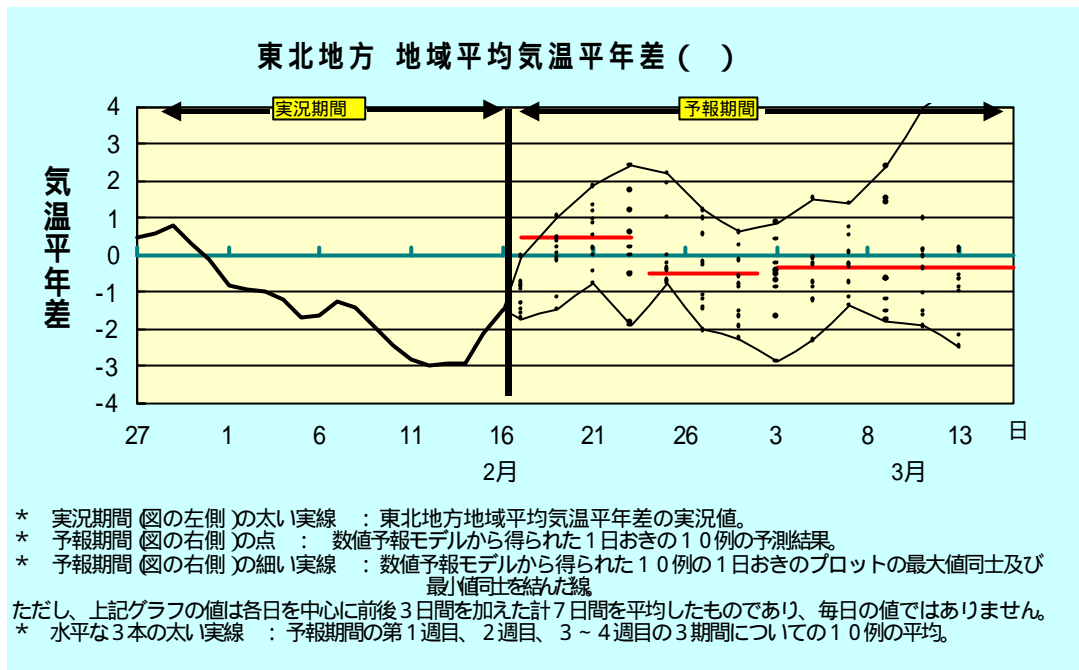
・ 北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、1 週目中頃から昇温して平年並に近づくものの期間を通して平年並～平年より低い。

個々のメンバーは 1 週目中頃まではそろっているが、それ以降はばらついている。

3．東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、1 週目「平年並」、2 週目「平年並」、3～4 週目「平年並」を予測している。
 なお、アンサンブルメンバーの傾向は平年並～低いでそろっており信頼度は大きい。

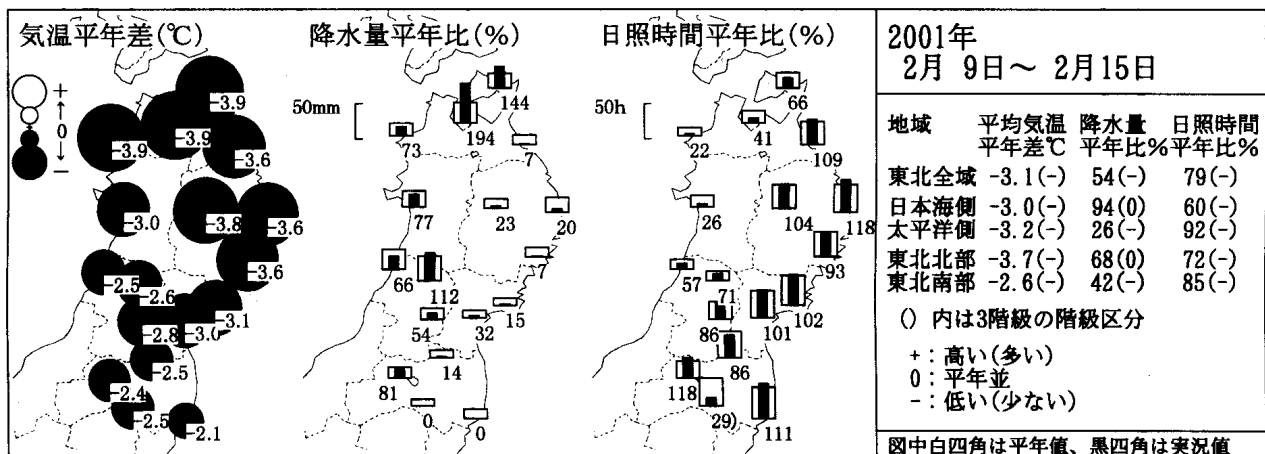


4．最近1週間(2月9日～2月15日)の天候の経過

気圧の谷が短い周期で通過し、気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となった。このため東北日本海側では曇りや雪の日が続き、東北太平洋側でも曇りの日が多かった。

また、東北地方では強い寒気が入ったため、気温がかなり低い状態が続いた

平均気温は、東北地方で平年差-3.1 と低かった。降水量は、東北日本海側で平年比 94% と平年並、東北太平洋側で平年比 26% と少なかった。日照時間は、東北地方で平年比 79% と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)